

生前退位に関する世論調査（RDD追跡法） 単純集計結果

【調査の概要】

調査期間： 2016年8月26日（金）～28日（日）
調査方法： 電話法（RDD）
調査対象： 全国の18歳以上の男女 2,729人
回答数（率）： 1,660人（60.8%）

第1問

あなたは、天皇陛下の「生前退位」の意向とお気持ちの表明について、どの程度ご存知ですか。次に読み上げる4つの中から1つ選んでお答えください。

- | | | |
|--------------|-------|--------|
| 1. 詳しく知っている | | 12.2 % |
| 2. ある程度知っている | | 60.3 % |
| 3. あまり知らない | | 21.7 % |
| 4. まったく知らない | | 3.6 % |
| 5. わからない、無回答 | | 2.2 % |

第2問

いまの皇室制度では天皇の「生前退位」は認められていません。あなたは、制度を改正して、「生前退位」を認めたほうがよいと思いますか。それとも、認めないほうがよいと思いますか。

- | | | |
|--------------|-------|--------|
| 1. 認めたほうがよい | | 84.4 % |
| 2. 認めないほうがよい | | 5.2 % |
| 3. わからない、無回答 | | 10.4 % |

第3問（第2問＝1の人に）

制度の改正は、どのような方法が望ましいと思いますか。次に読み上げる2つの中からお答えください。（分母＝1401人）

- | | | |
|-------------------------------------|-------|--------|
| 1. 皇室典範を改正して今後すべての天皇が「生前退位」できるようにする | | 70.3 % |
| 2. いまの天皇陛下に限って「生前退位」を認める特別法を作る | | 24.5 % |
| 3. その他 | | 0.1 % |
| 4. わからない、無回答 | | 5.1 % |

第4問（第2問＝1の人に）

では、制度の改正は、なるべく早く行うべきだと思いますか、それとも、時間をかけて慎重に行うべきだと思いますか。（分母＝1401人）

- | | | |
|-------------------|-------|--------|
| 1. なるべく早く行うべきだ | | 68.9 % |
| 2. 時間をかけて慎重に行うべきだ | | 27.7 % |
| 3. わからない、無回答 | | 3.4 % |

第5問

天皇陛下が国民に向けてビデオメッセージでお気持ちを表明されたことは、異例のことです。あなたは、天皇陛下がお気持ち表明をされたことをよかったと思いますか。それともよくなかったと思いますか。

- | | | |
|--------------|-------|--------|
| 1. よかったと思う | | 91.3 % |
| 2. よくなかったと思う | | 1.9 % |
| 3. わからない、無回答 | | 6.8 % |

第6問

次に、皇室についていくつかうかがいます。あなたは、皇室について、どの程度関心がありますか。次に読み上げる4つの中からお答えください。

- | | | |
|--------------|-------|--------|
| 1. 大いに関心がある | | 20.4 % |
| 2. 多少は関心がある | | 55.2 % |
| 3. あまり関心がない | | 17.7 % |
| 4. まったく関心がない | | 3.0 % |
| 5. わからない、無回答 | | 3.7 % |

第7問

あなたは、皇室に対して親しみを感じていますか。それとも感じていませんか。次に読み上げる4つの中からお答えください。

- | | | |
|-------------------|-------|--------|
| 1. とても親しみを感じている | | 22.8 % |
| 2. ある程度親しみを感じている | | 50.8 % |
| 3. あまり親しみを感じていない | | 18.3 % |
| 4. まったく親しみを感じていない | | 3.7 % |
| 5. わからない、無回答 | | 4.4 % |

第8問

今の天皇陛下が即位して28年になりますが、この間に、皇室と国民との距離は近くなったと思いますか、それとも遠くなったと思いますか。次に読み上げる5つの中からお答えください。

- | | | |
|--------------|-------|--------|
| 1. かなり近くなった | | 43.1 % |
| 2. やや近くなった | | 36.1 % |
| 3. 変わらない | | 13.5 % |
| 4. やや遠くなった | | 1.0 % |
| 5. かなり遠くなった | | 0.3 % |
| 6. わからない、無回答 | | 6.0 % |

性別

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | | 42.6 % |
| 2. 女性 | | 57.4 % |

年層

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| 1. 18～19歳 | | 0.8 % |
| 2. 20代 | | 2.1 % |
| 3. 30代 | | 4.9 % |
| 4. 40代 | | 13.0 % |
| 5. 50代 | | 15.2 % |
| 6. 60代 | | 23.7 % |
| 7. 70歳以上 | | 36.3 % |
| 8. 無回答 | | 3.9 % |

性・年層

1. 男性18～39歳	3.9 %
2. 男性40代	6.0 %
3. 男性50代	7.7 %
4. 男性60代	11.0 %
5. 男性70歳以上	13.0 %
6. 女性18～39歳	4.0 %
7. 女性40代	7.0 %
8. 女性50代	7.6 %
9. 女性60代	12.8 %
10. 女性70歳以上	23.4 %
11. 無回答	3.9 %

職業

1. 農林漁業	3.5 %
2. 自営業	8.0 %
3. 勤め人	26.0 %
4. 主婦	22.6 %
5. 学生	1.7 %
6. 無職	34.6 %
7. その他、無回答	3.7 %

都市規模

1. 特別区と人口100万以上の市	22.5 %
2. 人口30万以上の市	19.7 %
3. 人口10万～30万未満の市	22.5 %
4. 人口5万～10万未満の市町村	13.2 %
5. 人口5万未満の市町村	13.6 %
6. 無回答	8.5 %

地域

1. 北海道	5.7 %
2. 東北	6.7 %
3. 関東	29.6 %
4. 甲信越	3.5 %
5. 東海・北陸	15.4 %
6. 近畿	17.5 %
7. 中国	6.1 %
8. 四国	3.0 %
9. 九州沖縄	12.7 %